

◆初期起動方法◆

- 1) 圧縮形式フォルダを解凍する。
- 2) VBAマクロコードを含むExcel形式ファイルです。
- 3) Excelがインストールされていることが前提です。
- 4) Excel2003以降では使用することが出来ません。
- 5) Excel2010の初期設定確認方法。
- 6) Excel2010での起動方法。マクロを有効にする。
- 7) 補足

1) 圧縮形式フォルダを解凍する。

Vector等のサイトからダウンロードすると
圧縮形式でフォルダがダウンロードされます。

まずは『**圧縮されたフォルダを解凍すること**』が必要です。

解凍ソフトがパソコンにインストールされていない場合
フリーソフトでしたら、ベクターで
『圧縮』と検索すれば素晴らしい良いソフトが多々ありますので、
どれか好きなソフトを選びインストールすれば解凍することが出来ます。
<http://www.vector.co.jp/vpack/filearea/win/util/arc/>

2) VBAマクロコードを含むExcel形式ファイルです。

パソコン初心者でも目的の書類を簡単に作成できるように
マクロやVBAを組んだExcel形式のファイルです。

例えば、コマンドボタンを左クリックすると色々な処理を自動で行い
目的の書類を素早く作成出来るようになっています。

感覚的に作っておりますので
「このボタンはなんだろう??」
「とりあえずボタンを押してみよう。」と言う気持ちで試して見て下さい。

マクロとかVBAとかは便利にする為のプログラムだと思ってもOKです。

3) Excelがインストールされていることが前提です。

お持ちのパソコンに
Microsoft Office Excelがインストールされていることが
前提での話になります。

Microsoft Office Excelは言わずと知れた表計算ソフトの代表格で
パソコンを購入すると、
ほとんどのパソコンに、(価格の安いパソコンでない限り)
付属されているソフトの中のひとつです。
(Microsoft Office Excel はMicrosoft Corporation の登録商標です。)

4) Excel2003以降では使用することが出来ません。

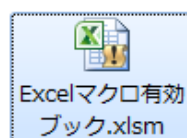
重要.....

またMicrosoft Office Excelのバージョン新旧によって起動しません。

Excel2003以降では使用することが出来ません。

Excelマクロ有効ブック.xlsm

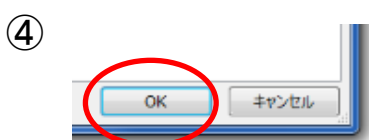
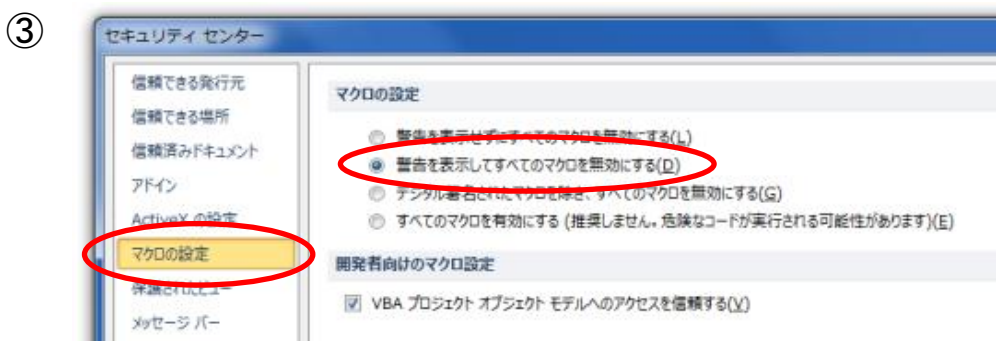
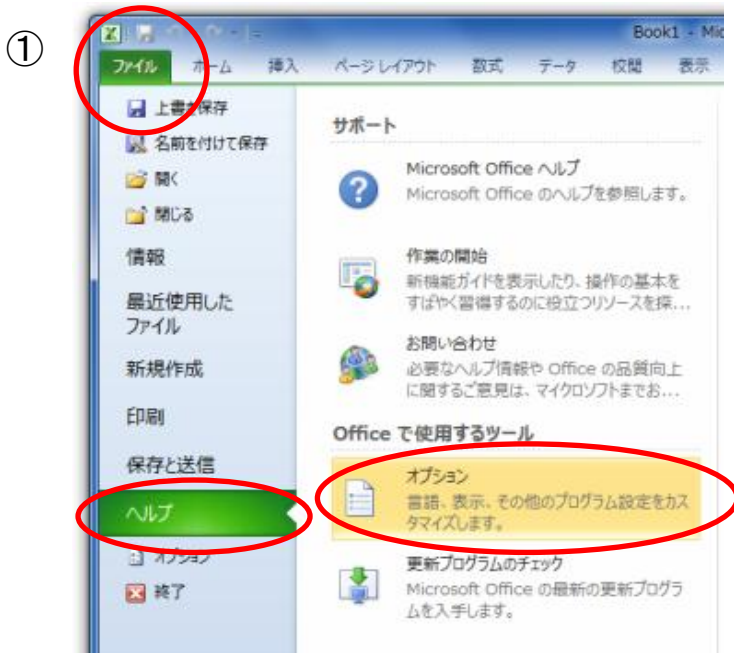
『!』マークがVBAマクロを含んでいる特徴



5) Excel2010での初期設定確認方法。

Excel2010では

- ① ファイルタブ→ヘルプタブ→オプション→
- ② セキュリティセンタータブ→【セキュリティセンターの設定】ボタン
- ③ マクロの設定タブ→●警告を表示してすべてのマクロを無効にする(D)を確認する。
- ④ 【OK】ボタンを左クリックする。

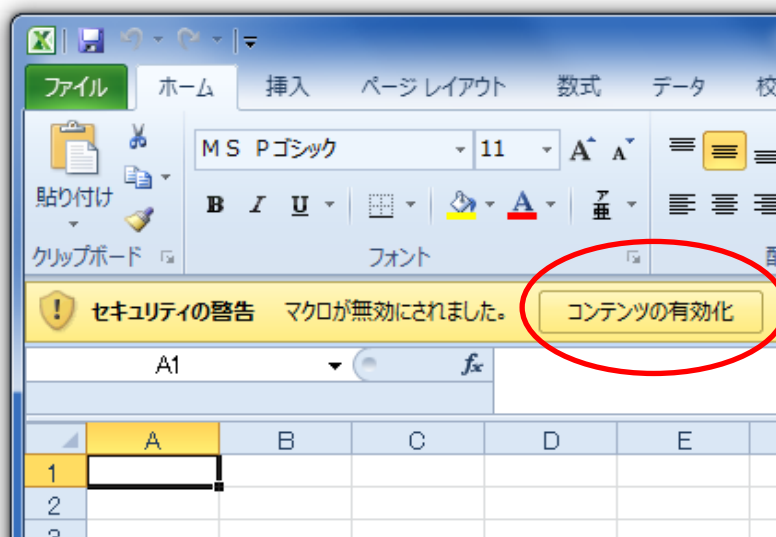


チェックが入っていることを確認する。

画像通りに順番を追えば簡単ですね。

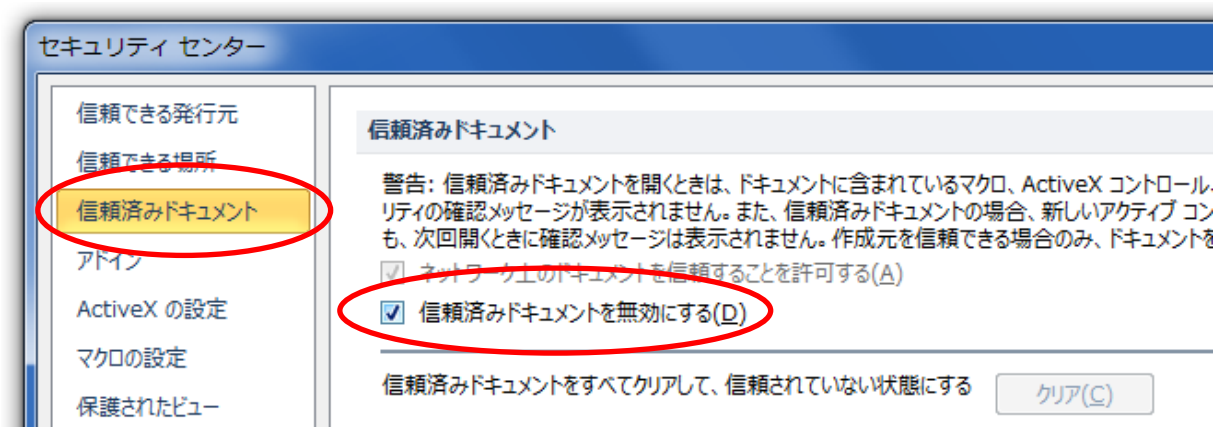
6) Excel2010での起動方法。マクロを有効にする。

それではソフトを起動させますと
中央にセキュリティの警告メッセージバーが表示されます。
【コンテンツの有効化】ボタンを左クリックすると、マクロが有効になります。
(マクロを有効にするとプログラムが動くようになります。)



7) 補足

同じファイルを再び開くと常にマクロが自動で有効になってしまう。
(Excel2010は利便性を考えて若干仕様が変わったのかな?)
以前のExcelみたいにファイルを開く度に、その都度警告が表示されて
有効・無効を選択出来るようにしたい場合には、
セキュリティセンター→信頼済みドキュメントタブ→
☒ 信頼済みドキュメントを無効にするにチェックをして【OK】ボタンを左クリックする。



この度は
ダウンロードして頂きまして誠に有難う御座いました。